**作品**

６０歳。私は初めて人を好きになりました。

**作品意図**

６０歳。まだまだいろいろなことができることを例を混ぜて書きました。
　そうすることで、未来に希望を持てるんじゃないか。年を取っ未来をあきらめないで欲しい。そう思い書きました。

**作品**子供を育てる時は、いろいろなことを考えた。けれど、孫と接するときは何も気にせず甘やかす。これも、年をとった利点である。

**作品意図**

年を取ることがマイナスじゃない。利点もいっぱいある。その一部例を出すことで未来に希望を持ってほしい。そういう思いを込めて書きました。

**作品**

家族のために、頑張るために、守ってきた禁欲生活。今、それを開放する。

**作品意図**

今までいろんなことを我慢してきた。それを６０歳になったら開放してもいい、未来はまだまだ希望がある。
　そう思ってほしくて書きました。

**作品**

子供は成人して、仕事は退職してやることがない。いや、今あるものを受け継ぐことはできるはず

**作品意図**

６０という、何もかもをやり遂げた時。それでも、まだやれることがある。それに気づいてほしくて書きました。

**作品**

６０歳。今までいろんなことを経験した。なら。後は上手に生きるだけだ。

**作品意図**

今まで、つらいことも楽しいことも経験した。それを、生かして楽しく生きてほしい。そう思って作りました。

**作品**

そうか、人生ってこれからだったんだ！

**作品意図**

見た人が、前向きにそしてこれからも頑張っていこうと思ってほしくて書きました

**作品**

自分の人生の中で他人のために費やした時間がのほうが多いなんて、そんなの損だ

**作品意図**

６０歳になって、もし一人になったとしても、これを見て楽しく過ごそうと、自分らしく生きようと思ってほしくて書きました。

**作品**

１００の中の６０歳。なんだ、まだまだやれることがあるじゃないか。

**作品意図**

残りの人生まだまだ色々なことがやれる。そう思ってほしくて書きました

**作品**

今まで頑張ってきたんだ。なら少しは羽目を外しても罰は当たらないでしょう！

**作品意図**

年をとって大人になる。それは多くの自由を手に入れる子tができる。それを分かってほしくて書きました

**作品**

６０歳。１００歳まで残り４０年。あと、二人子供を育てることができますね

**作品意図**

人生百歳時代の六十歳。残りの四十年がいかに長い時間かを具体的な例をだして書くことで人生まだまだいろんなことができると思ってほしくて書きました。

**作品**

今まで大事な人のために頑張りました。なら次は自分の番だ

**作品意図**

今までは、色んな人を幸せにするために頑張ってきました。なら次は、自分のために頑張ってほしいと思い作りました

**作品**

子供は大人に、仕事は退職。あとやることは、楽しむことだ

**作品意図**

一人になる時間。その時間を恐れるのではなく楽しんでほしいという気持ちで作りました。

**作品**

６０歳からすることは。今までできなかったことをする時だ

**作品意図**

60歳という、自由な時間が増えることを前向きにとらえてほしくて作りました。

**作品**

百歳時代・それなら。６０歳はまだまだ子供だ・

**作品意図**

６０歳でもまだまだ、いろいろなことができると思い書きました。